

タキオンジャパン  
クラウド・ファンディングのご提案

いつも皆さまにはお世話になっております。

このたび株式会社タキオンジャパンとして、今後の映画製作を対象に、クラウド・ファンディングをご提案することにいたしました。ぜひご検討をいただき、お力添えをお願い申し上げます。

【タキオンジャパン クラウド・ファンディングの内容】

タキオンジャパンでは今、2025年度中に公開上映(予定)の5本の記録映画を製作中です。

その5本(順不同)とは、

- ① 「幻のかくめい～サークル村と大正闘争」(仮題)・・・2024年春公開予定
- ② 「奇跡の大地～勇払原野の四季」(仮題)・・・2024年秋公開予定
- ③ 「市街戦のジャズメン～作家 佐藤泰志の衝撃」(仮題)・・・2024年夏予定
- ④ 「母と子の絆～カネミ油症の真実」(仮題)・・・2024年冬公開予定
- ⑤ 「二重被爆 80年目の真実」(仮題)・・・2025年初夏公開予定  
となります。

タキオンジャパン クラウド・ファンディングへの協力いただく対象を、

A)タキオンジャパンの製作映画全般

B)個々の作品に対する 2つに分けさせていただきます。

- ① 「幻のかくめい～サークル村と大正闘争」  
1958年に文化創造運動として北九州・中間市で生まれた「サークル村」(谷川雁・森崎和江・上野英信)は後に60年安保、炭鉱閉山が進行する中で、大正鉱業と労働者との激しい闘いが繰り広げられた。
- ② 「奇跡の大地～勇払原野の四季」  
1960年代後半、北海道の南に位置する勇払原野には大規模工業地域が形成された。しかしその一部はラムサール条約により、手つかずの自然が残った。巨大空港(新千歳空港)に繋がる奇跡の大地の四季とその地で生活する人々を追った。
- ③ 「市街戦のジャズメン～作家 佐藤泰志の衝撃」  
作家 佐藤泰志の原点は、函館西高校3年の時(1967)に執筆した「市街戦のジャズメン」である。羽田闘争で京大生が死んだ事実を基に、高校生の苦悩と矜持を織り交ぜて描き、作家への道へ進んだ。
- ④ 「母と子の絆～カネミ油症の真実」  
1968年に福岡-長崎を中心に、ライスオイルに混入したダイオキシン類に

よって、さまざまな障害を持つ人々が広がった。食品公害は母から子、そして孫世代へと被害の連鎖が続いた。そして 55 年経った今も被害者救済は果たされていない。

⑤ 「二重被爆～80 年目の真実」

広島と長崎で二度被爆した、二重被爆者を取材して 20 年。「二重被爆」(2006)、「二重被爆～語り部・山口疆の遺言」(2011)、「ヒロシマ ナガサキ最後の二重被爆者」(2019)に続き、被爆 80 年が経過した今、なぜ広島と長崎に原爆が落とされたのか？の真相を究明し、二重被爆者とその家族を追う。

クラウド・ファンディングは、次の 3 つステージとさせていただきます。

1)10,000 円

お名前をエンディング・ロールで「製作支援者」としてご案内いたします。  
上映内容をお伝えする「タキオン通信」をお送りいたします。

2)30,000 円

お名前をエンディング・ロールで「製作支援者」としてご案内いたします。  
上映内容をお伝えする「タキオン通信」をお送りいたします。  
特別試写会にご招待いたします。  
(開催場所によって、ご希望に添えない場合もございます)

3)50,000 円

お名前をエンディング・ロールで「製作支援者」としてご案内いたします。  
上映内容をお伝えする「タキオン通信」をお送りします。  
上映開始後、本編 DVD をお送りいたします。

さらに、100,000 円以上の製作支援金の提供につきましては、別途ご相談させていただきます。

【お問合せ先】

株式会社 タキオンジャパン 稲塚秀孝(いなづか ひでたか)

〒182-0026 東京都調布市小島町 3-3-31-102

携帯番号 090-3433-6644 FAX 042-444-3082

[inazuka@takionjapan.onamae.jp](mailto:inazuka@takionjapan.onamae.jp)

【振込先】

三井住友銀行 渋谷支店 普通 8707479 株式会社タキオンジャパン宛

ホームページ <https://takion-japan.com>